

<p>アドバンスト・グローバルコミュニケーション (Advanced Global Communication)</p>	<p>1 年・前期・2 単位・選択 システム創成工学専攻・物質創成工学専攻 担当 前田 哲宏</p>	
	<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-2, D-1 物質創成工学専攻は対象外</p>	<p>〔JABEE 基準〕 f, d-2a 物質創成工学専攻は対象外</p>
<p>〔教育方法等〕</p> <p><b>概要：</b> 本講義の目的は、英語によるプレゼンテーションスキルの基礎をさらに発展させ、文化や科学技術分野を中心に、より高度なプレゼンテーションスキルを培うことを目的とする。最終的には、国際学会での発表を視野に入れた英語プレゼンテーション原稿の作成、スライドの作成、そして発表に至るまでの一連の作業を講義時間内に行う。また、その後の質疑応答やディスカッション、ディベートといったやりとりも実際に行うことで、より実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。なお、本科目は、グローバルエンジニア養成教育プログラムの科目と一部として実施する。</p> <p><b>授業の進め方と授業内容・方法：</b> 与えられたテーマについて、ペアまたはグループでリサーチを行い、構成を考えながらプレゼンテーション原稿を執筆し、実際にプレゼンテーションを行う。その後、質疑応答セッション、ディスカッションセッション、聴衆による評価セッション等を行う。</p> <p><b>注意点：</b> <b>関連科目</b> プレゼンテーション英語、アドバンストグローバルエンジニアスキル <b>学習指針</b> 基礎的なプレゼンテーションスキルを身につけていること。 <b>自己学習</b> 時間内で原稿が仕上がらない場合は、各自で自己学習として原稿を仕上げること。</p>		
<p>〔教科書〕 適宜自作プリントを使用する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕 なし</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物怖じすることなく、自信をもって英語でプレゼンテーションすることができる。</li> <li>2. よりアカデミックな内容のプレゼンテーションを原稿を参照しつつ英語で実施することができる。</li> <li>3. 英語による質疑応答に耐えうる応答能力を身につける。</li> <li>4. 他者のプレゼンテーションを客観的に評価できる力を身につける。</li> </ol>		
<p>〔評価割合〕 授業中の作業に取組む態度 30%、質疑応答・ディスカッションセッションでの積極性 10%、プレゼンテーション評価 50%、自己評価 10%</p>		

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス、ペアリング、テーマ選択、データ収集①	第 1 回目プレゼンテーションのテーマは「世界に伝えたい日本の文化」(情報提供型プレゼンテーション)とする。	
	2 週	スライドと原稿作成①	5 枚のスライドを用いて、5 分で発表できる原稿を英語で作成する。	
	3 週	発表とピアレビュー、ディスカッション①	英語による 5 分の発表を行った後、質疑応答を行う。全ての発表終了後に英語でディスカッションを行う。	
	4 週	テーマ選択、データ収集②	第 2 回目プレゼンテーションのテーマは「世界の最先端技術」(情報提供型プレゼンテーション)とする。	
	5 週	スライドと原稿作成②	5 枚から 8 枚のスライドを用いて、5 分から 8 分で発表できる原稿を英語で作成する。	
	6 週	発表とピアレビュー、ディスカッション②	英語による 5 分から 8 分の発表の後、質疑応答を行う。全ての発表終了後に英語でディスカッションを行う。	
	7 週	テーマ選択、データ収集③	第 3 回目プレゼンテーションのテーマは「世界の諸問題とその解決策」(説得型プレゼンテーション)とし、ペアごとに地域を選択し、その地域における社会問題を一つ選択し、その解決策について考える。	
	8 週	スライドと原稿作成③-1	10 枚のスライドを用いて、10 分で発表できる原稿を英語で作成する。	
	9 週	スライドと原稿作成③-2	教員からのフィードバックを受け、原稿とスライドの手直しをする。	
	10 週	発表とピアレビュー③	10 分の発表の後、質疑応答を行う。	
	11 週	ディベート	これまでのテーマから一つテーマを選択し、英語によるディベートを行う。	
	12 週	テーマ選択、データ収集④	第 4 回目のプレゼンテーションのテーマは学生各自の研究テーマに基づいて設定する。	
	13 週	スライドと原稿作成④-1	国際学会での 10 分間の発表を想定し、スライド 10 枚程度とその原稿を作成する。	
	14 週	スライドと原稿作成④-2	教員からのフィードバックを受け、原稿とスライドの手直しをする。	
	15 週	発表とピアレビュー④	10 分の発表の後、質疑応答を行う。	

\* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.